

2019年度第5回ステップアップ講習会
参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和元年度 大阪府中学校総合体育大会				
●日程	令和元年11月23日 (土)				
●会場	堺市原池公園体育館				
●講師	黒岡 和哲 様 湯浅 剛 様				
●スケジュール	令和元年11月23日 (土) 12:15 集合・受付 13:00 実技開始 17:00 解散				
●担当試合	令和元年11月23日 (土) 13:00 ~				
	対戦カード	薫英		VS	樟蔭
	CC	西田 尚樹	U1	重松 志保 氏	U2 亀甲 真之介 氏
	講師／主任	黒岡 和哲 様			
	講評	・クレーの間でメカについて大きな崩れはなかったが、コールした判定の中でマージナルなものがあつたので、判定したものの中味について検証する必要があつた。また、トラベリングの判定に一貫性がなかったので、クレー間で取り上げたファウルやトラベリングについてしっかり共有する必要があつた。 ・ガイドラインに沿った判定基準をきちんと示すことが出来ていなかった。			
	自己の感想	PGMでは、メカ・ガイドラインの確認と両チームの特徴についてクレーで確認を合わせたが、オンザコートでは、クレーで取り上げた判定についての共有がなされてなかったもので、一貫した判定につなげることが出来なかった。CCとして、クレーへの声掛けや情報の共有をしっかり行って、クレーでより良い判定へつなげられるよう働きかけをしていかなければいけないと思った。また、Cポジションでプレーにアジャストするための動きに無駄があるケースがあつたので、なるべく少ない動きでアジャストできるようプレーの予測と事前のポジション取りを工夫する必要があると感じた。映像解析を行った際、オンザコートでの立ち姿やプレゼンが弱い部分があつたので、まだまだ改善や工夫の余地があると感じた。 最後になりましたが、お忙しい中ご指導いただいた講師の皆様方には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。			

第 5 回 ステ ッ プ ア ッ プ 講 習 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	2019年度 西日本女子地域リーグ						
●日程	令和1年11月24日 (日) ~						
●会場	神戸常盤体育館						
●講師	飯尾 勝紀 様 湯浅 剛 様 黒岡 和哲様						
●スケジュール	令和1年11月24日 (日)						
	9:15 講習生集合 10:00 実技講習開始 14:00 解散						
●担当試合	令和1年11月24日 (日) 10:00 ~						
	対戦カード		鶴屋百貨店		VS		AC播磨
	主審		CC	柳生氏	U1	田中氏	U2 木村
	講師／主任		飯尾 勝紀氏				
	講評		・トレイルのアングルの取り方がプレイにアジャストした位置で取れておらず、判定をするには確信を持って判定ができないことが多い。特にトレイルが判定すべきショットのところが近すぎたり遠すぎたりで判定ができていないことがあるので、トレイルの位置を再度確認していく。 ・要所所でボールウォッチャーになっていることにより、他クルーがローテーションを行っていても気が付いていない。チェックアウト・チェックインを行えているか、自分が今見るべき部分はどこなのかを理解する。 ・プライマリーエリア・プライマリーアングルの理解が甘い。ダブルホイッスルで鳴ることは悪いことではないが、その現象のプライマリーはどっちなのか、きちんと理解した上で、どちらのレフリーがレポートにいくのか判断できるようにする。 ・2or3のフォローの意識をもっと持つ。特にアーリーオフenseの際のリードからのフォローを忘れがちになっている。 ・リードのローテーションのタイミングがつかめていない。特に行くか行かないか迷った際には遅いことが多い。				
	自己の感想		今回の自分の目標としては、POCを確認して判定すること、スムーズなローテーションを行えるようにという内容でした。POCに関しては自分の中での根拠を持って判定できた部分はあったと思いますが、判定できていない現象に関しては、まだまだプレイに対しての理解・知識が足りていないと感じる部分も多々ありました。メカニクスに関しては、ローテーションを躊躇してしまい、プレイに遅れてしまうケース、逆に早すぎてローテーションが不要であったケースなどタイミングを掴めていませんでした。ただ、スムーズにローテーションが出来ていることもあるので、そのときとそうでないときの違いを自分の中で解析し、次に繋げていきたいと考えております。				

2019 年 度 第 5 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 講 習 会
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和元年度 大阪府中学校総合体育大会		
●日程	令和元年 11月17日 (日) ~	令和元年 11月23日 (土)	
●会場	堺市原池公園体育館 他		
●講師	大阪府審判委員会インストラクター部 黒岡 和哲 様、湯浅 剛様		
●スケジュール	令和元年 11月23日 (土) 13:00 実技開始 16:30 終了		
●担当試合	令和元年 11月23日 (土) 14:30 ~		
	対戦カード	大阪市立巽中学校 VS 東大阪市立小阪中学校	
	主審	主審 河崎 副審 U1 池嶋氏 U2 正水氏	
	講師／主任	湯浅 剛 様	
	講評	・ゲーム序盤から、インサイドのキープレイヤーのディフェンスでのイリーガルな手の使い方が整理しきれていなかった。特にポストディフェンスでのハンドチェックが多かった。プレイコーリングガイドラインに沿って我々は判定しなければならないので、ポストディフェンスでのストレッチアームや両手をあて続けるハンドチェックなどは、ゲーム序盤でメッセージを伝えるためにも笛を入れたほうがよかった。 ・ケガをしたプレイヤーの対応中に、別のプレイヤーが交代していたにも関わらず交代の合図が行われていなかった場面があった。交代をしているかしていないかでテクニカルファウルの際は処置が大きく異なるので、必ず3人の中でベンチサイドに近いレフリーはベンチやTOの状態には気を配る必要がある。 ・ファウルは何かあってもファウルなので、ショットが入ったから吹かないというような判定をしてはならない。ガイドラインに沿ってイリーガルなファウルについては、RSBQを考慮しながらではあるが、1試合通じて判定し続ける。	
	自己の感想	ステップアップ講習会で、初めてクルーチーフとして割当をいただき、この試合に臨みました。PGCでは、この試合の位置づけや事前に調べたチームの情報、インテグリティについて、そしてマンツーマンペナルティの処置の仕方なども取り入れて話をしました。試合中は、クルーとコミュニケーションを取りながらレフリーをすることが出来ましたが、個人的な課題は多いように思います。時間管理については、マジックタイムを持つことが出来ずに処置できなかった場面もあり、デリバリースキルについてもリバウンドファウルを取り上げた時に「何が起こったのか」を選手やコーチ、観客に示すことが出来ませんでした。コート上では、もっと一つ一つのファウル、バイオレーションなどの示し方にも工夫が必要であると感じました。	

2019年度第5回ステップアップ講習会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	大阪中学校総体		
●日程	令和1年11月23日 (土)		
●会場	堺市原池公園体育館		
●講師	大阪府審判委員会 インストラクター部		
	黒岡 和哲氏 湯浅 剛 氏		
●スケジュール	令和1年11月23日 (土)		
	12:15 集合・受付(開講式なし)		
	13:00 実技開始(ミーティング含む)		
	17:00 解散		
●担当試合	平成28年1月1日 (金) 13:00 ~		
	対戦カード	薫英女学院中学校 VS 樟蔭中学校	
	主審	CC 西田氏	U1・U2 重松 ・ 亀甲氏
	講師／主任	黒岡 和哲氏	
	講評	・ゲーム前にコートへ入って感じたこと(選手のソックスなど)を大会規定や連盟で通達されていることを確認・共有することの大事さを再確認し気をつける。 ・インテグリティを1人が分かっているならテクニカルファール、もしくはワーニングを入れることが必要だったのではないかと。 ・積極的にコールしていく。クルーが吹いた基準を感じ、同じ基準でレフェリーしていくことを心がける。特に、トラベリングのところや、ポストアップに対するディフェンスの手などをもう少し精査し基準を揃えコールする事。 ・リーガルなのかイリーガルなのかをしっかりと見極めていき、不必要な手の使いやコンタクトのところをもう少し整理する事が必要。 ・1ゲーム通してクルーワークとして大きな崩れはなくて良かった。	
	自己の感想	・今回のゲームを通して、「積極的に」という事が大きな課題となり、悔しい気持ちが残った。クルーがコールしたものや自己がコールしたものに対して一貫性を持ってコールするためにポジションアジャストなどできることをしっかりと準備して次に活かしていきたい。 ・PGCでは、ベーシックなことを確認し個々に持っている情報を共有しコートに入った。選手のソックスやサポーターなど気になったこと、大会規定や連盟から通達されていることを再確認できたことはよかった。ゲーム中でもアイコンタクトやコミュニケーションをしっかりと取れていたためクルーワークはよかったと思う。 ・どのカテゴリーのゲームでもベーシックなことの理解・徹底を深めコートでしっかりと発揮できるように今回のことをしっかりと振り返り今後のれフェリー活動に活かしていく。	

2019年度 第5回ステップアップ講習会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	2019年度西日本女子地域リーグ					
●日程	11月23日(土)					
●会場	神戸常盤アリーナ					
●講師	大阪府審判委員会インストラクター部					
●スケジュール	11月23日(土)					
	11:00 集合・受付 11:40 実技講習開始（ミーティング含む） 14:00 解散					
●担当試合	11月23日（土）11：40～					
	対戦カード	OTCくきや		V S		紀陽銀行
	主審	CC	塚本氏	U1	田中氏	U2 森照代
	講師／主任	茅野修司 飯尾勝紀				
	講評	・TOとのコミュニケーションをもっと大切にする。 ・声を使う。『ネクストボーンラス』や『ツーモア』の声はクルー同時の共通認識をするだけでなく、選手へのファールを抑制する効果もある。 ・トレイルの時のアングルの捉え方を工夫する。 ・ファールコールしているプレイをどのくらい長く捉えれているかが大切。瞬間的に捉えないことが大切。				
	自己の感想	今まで、クルー間のコミュニケーションだと思っていた声が、選手へのファールを抑制する影響があることを知り、今後は今まで以上に声を大切にしてトライしようと思いました。また、トレイルでのプレイの捉え方ができていないことが多いので、もっとクロスステップを使うことを心がけていきたいと思います。				

2019年度 B級 第5回 ステップアップ講習会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	2019年度 大阪府中学校総合体育大会						
●日程	2019年 11月23日(土)						
●会場	堺市原池公園体育館						
●講師	黒岡 和哲 様 茅野 修司 様 湯浅 剛 様						
●スケジュール	2019年 11月23日 (土)						
	12:15 集合・受付(開講式なし)						
	13:00 実技講習開始						
	17:00 解散						
●担当試合	2019年 11月23日 (土) 14:30～						
	対戦カード	大阪市立巽中学校		VS	東大阪市立小阪中学校		
	クルー	CC	川崎 亮介 氏	U1	池嶋 一幸	U2	正水 剛 氏
	講師／主任	湯浅 剛 様					
	講評	・全体を通してメカの崩れもなく、スムーズにゲームが展開できた。 ・プレゼンに関してはクルー全員が分かりやすく見やすかった。 ・プライマリーについてはお互いが意識しながら判定しているのは分かるが、もっとリードが目立ってもいい場面が多数あった。(アクティブリード) ・悪い手の使い方などの判定に対して逃しているところがあるので、3Q、4Qになってもファウルが減らない。審判からプレイヤー、ベンチに対する「これはダメだよ」というメッセージ性が弱い。 ・レフェリーディフェンスの意識をもっと持つ。 ・テンポセットがファウルだけになっていないか。ヴァイオレーションも含めてゲーム開始時に整理する必要がある。 ・けが人への対応でゲームを止めた時、冷静に交代を宣し、誰がプレイヤーなのか交代要員なのかを明確にする。そうすることでトラブルを未然に防ぐことができる。					
	自己の感想	・メカの崩れは1ゲーム通してなかった。しかし、自分自身が1Qからリードのローテーション時にキープレイヤーやフロアバランスのことを意識しすぎてノッキングしてしまう場面が多々あった。その結果、ローテーションが遅れ判定にも遅れが出る場面があったので自分の中のテンポセットのことも含め積極的にいくべきだった。 ・プレゼンに関してはより高めていけるようにいろいろな方を見て参考にしていく。 ・アクティブリードの意識が弱い。トレイルからスタートのプレイではあるが任せきりにならず、リードが自分のエリアで起こったことに関しては判定していく。 ・ゲーム開始時からオヴィアスなものは取り上げていた。しかし、接触の度合いが大きくはないが、決断して笛を入れないといけない場面があった。そういうプレイに対して笛を入れることでゲームがよりクリーンになっていくと感じた。そうするためには、より早く自分のポジションに入り、捉えるべきプレイ(エリア)をより長く見る必要があると感じた。 ・けが人が交代する時にもっと色々なところに目を配る必要がある。きちんと交代を宣して、そのあとのゲームでトラブルにならないように意識しなければいけない。 ・大阪府大会の決勝という舞台で今自分が持てる力を日頃の成果として出せている部分もあったが、改善しなければいけない課題もあったので、自己研鑽を重ね次につなげていきたい。このような機会を与えていただいたことに感謝しながら、今後も審判活動に取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。					

2019 年 度 第 5 回 ス テ ッ プ ア ッ プ 講 習 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	2019年度 西日本女子地域リーグ				
●日程	令和元年 11月24日(日)				
●会場	神戸常盤アリーナ				
●講師	大阪府審判委員会 インストラクター部				
●スケジュール	令和元年 11月24日(日)		神戸常盤アリーナ		
	9:15 集合・受付(開講式なし)適宜準備				
	10:00 実技講習開始				
	14:00 実技終了・解散				
●担当試合	令和元年 11月24日(日) 11:40 ~				
	対戦カード	第一生命		VS OTCくきや	
	CC	北村 氏	U1	真下 氏	U2 木村
	講師／主任	湯浅 剛 様			
	講評	・ブレイジになりかけたケース →笛が二つ鳴ってしまったときはすぐにシグナルを出すのではなく、まずはホールド、アイコンタクト。それからプライマリのレフリーがレポートへ。そもそも二つ笛が鳴らないように、ドライブに対するプライマリの理解が必要。 ・TOへのレポートをする場所の工夫 →特にリードからレポートへ行くとき、プレイヤーの中に入っていくように。また、移動が間延びしているので、歩き方の工夫も必要。 ・リバウンドの判定 →早くアングルをとって長くプレーを見たうえで判定する。 今回のケースは現象だけで笛を鳴らし、ファウルでないものをファウルとして取り上げてしまっていた。			
	自己の感想	講師の方にもご指摘をいただきましたが、私の課題である「決断する」ということを試される場面がたくさんあった試合でした。まだまだ自分自身の弱い部分が出てしまう場面が多く、審判活動中だけでなく、仕事や私生活の上でも継続して取り組んでいかなければならない課題だと感じました。 また、プレーに対するプライマリの理解が足りず、判定ができる良いアングルをとれていないことも、「決断する」ことができていない一つの要因だと思うので、映像で振り返りながら丁寧にプライマリの確認をしていきたいと思います。			